

エコドライブ



10月21日に衛生組合連合会主催によるエコドライブ教室がNPO 法人山形県自動車公益センターご協力のもと開催されました。エコドライブとは、自動車の燃料消費量やCO²の排出量を削減し、地球温暖化防止につなげるための運転方法や心がけのことで、燃料代の節約のほか安全運転にもつながる取り組みです。今回の教室では、10名が参加しエコドライブの取り組みについて学びました。

カーボンニュートラルセミナー



「地球温暖化で水没する国と呼ばれるキリバス。ケンタロ・オノさん涙の講演」10月21日(土)に行ったカーボンニュートラルセミナー。第1部は気候変動などに関する講演活動を行うキリバス共和国のケンタロ・オノさんに講演をお願いしました。「地球温暖化で水没する国と言われるキリバス共和国。フードロスが世界一の日本の取り組みは私のふるさとを守ります。30年前に通った学校も温暖化による海面上昇で建物もなくなり、日本では美しいとニュースになるスーパームーンは潮位を上げ街中に海水があふれる。ひとつのゴミを拾うことで海でつながる世界の国を助けることができる。私は絶対に諦めない。」とオノさんは涙で呼びかけました。第2部では山形県地球温暖化防止活動推進員の堀川敬子さんが「地産地消も運搬時の燃料を削減させる有効な手段。何もしなかったら何も変わらない。家庭での行動を変えることが大切」だと山形県の脱炭素アクションを交えながらお話くださいました。

【問合せ】 役場環境整備課 環境下水道係 ☎29-5631 mail : kankyogesui@town.kaneyama.yamagata.jp

フードドライブ

10月の食品ロス削減月間およびやまがたSDGs推進月間に合わせて、10月2日から17日までの間、役場庁舎内でフードドライブを行い、お米やインスタント食品、調味料などたくさんの方の食品の提供をいただきました。フードドライブとは、家庭などで余っている食品を必要としている困窮世帯やこども食堂実施団体などに届ける活動のことです。今回提供いただいた食品は、最上管内で支援活動を行っている金山町社会福祉協議会から最上管内で支援を必要としている方々に届られます。皆様からのご協力、誠にありがとうございました。なお、金山町社会福祉協議会では、年中通してフードドライブを行っておりますので、引き続き活動のご支援をよろしくお願います。

「わたしと金山」 No.19

林 寛治

金山町役場庁舎(1)

1978年(昭和53)に金山小学校校舎が完成して、同屋内運動場の設計監理が始まっている頃、役場庁舎建設企画委員会、特に町長と町議会議員から質疑応答と呼ばれたことがあります。そこで近隣町村の新役場庁舎の話が聞きました。最上郡内の多くの町村役場は昭和30〜40年代までに建替え済みで、中には議会棟が別棟の町村があるとも聞き、まさか? などと思っておりました。

当時の金山町の旧役場は、イチヤマ庭園側境界線に寄って1m足らずまで接した規模の木造2階建て庁舎があり、1階が事務室と町長・助役室、2階が議場兼用会議室でした。

その後方の内町側に別棟として、手前の庁舎と廊下で結ばれた役場事務室がありました。

奥の別棟は、1891年(明治24)築の高床木造で、当初は民事裁判所としてその後登記所、さらに終戦前には町長官舎として使用された後、戦後になって役場事務室として使われていたものです。木造の旧庁舎は増改築を繰り返ししながらも町制施行以前から新庁舎まで、約90年間大事に使われてきたわけですね。

1970年代後半、町民・町議会から庁舎新築の要望が高まり、1977年に金山町庁舎建設企画委員会が設置されました。私は、金山小学校校舎建設の設計



▲1979年(昭和54)までの前金山町役場。左入口手前にトイレ汲み取り口と臭突2本が写る。左手前と正面奥の2か所の事務所入口。進入路右側にはカネホ川崎家があった。

監理で現場往復中でしたので、庁舎に関する意見は求められませんでした。しかし、現場報告のために訪れる木造官舎改造の事務室は、職員一人当たり面積が狭小で、夏は外光に対して暗く、特に冬場の室内あちこちに置いてある灯油ストーブには火事の危険を感じていました。

日置いて金山町からの設計委託を受けることになりました。岸宏一町長からは山の中の町役場に相応しい格調を求められ、また役場工事は補助金なしの独立予算だから十分に注意することを告げられました。

街中の豪雪時対策を意識しながらも、規模の差には関係なく、イタリアから帰国前1966年に見回ってきた北欧各首都やウィーンの歴史的市庁舎等、また憧れて観に行ったフィンランドのA・アールト、デンマークのA・ヤコブセンの区役所庁舎や村役場などを想起しました。遺跡を含め歴史が積み重ねられた口マの旧市中心に住んでおりましたから、北欧を代表する建築と建築家の作品を現場で実視しておきたかったからです。

町立金山診療所だより vol.178

ほっとクリニック

「おねしょ」について

町立金山診療所 小児科 医師 藤山純一

今回は「おねしょ」(夜尿症)についてのお話です。夜尿症は、5歳を過ぎてでも睡眠中に尿をもらしてしまふことが月に1回以上、3ヶ月以上続く場合をいいます。幼児にはよくあることで、軽い場合まで含めると5歳で25%、6歳で20%、10歳で5%、15歳で1%位といわれますが、恥ずかしくて相談できない人もいて、実際はもっと多いと考えられます。多くは自然に治まり、男児で12〜14歳、女児で10〜12歳頃までといわれています。原因となる病気の多い場合がほとんどですが、先天性の腎・尿路奇形、二分脊椎、尿崩症、糖尿病、慢性腎不全などの病気が原因であったり、慢性便秘、睡眠障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)の場合には頻度が高いといわれています。

す。そのため、詳しくお話をうかがい、こまかく診察し、必要に応じて血液、尿、X線検査などを行います。対策の第1は生活指導です。①夕食は睡眠の2時間前までに済ませる。②夕食後は水分をなるべく飲まない。③食事の塩分をひかえる。④睡眠前にはお風呂を済ませ、夜間は起こさない。⑤夜尿の有無の記録をつける。⑥便秘をなくす。これらの生活指導を3ヶ月くらい続けても改善が見られない場合は6歳以上で治療を考えます。治療のひとつめは薬物療法で、尿量を抑えるデスマプレリン舌下錠を使います。食後2時間以上、眠る30分前までに、舌の下で溶かして水を使わずに飲みます。1ヶ月使用して効果がなければ増量します。また、それでも効果がなければ、膀胱筋の活動を抑える抗コリン剤、精神疾患の関与がある場合は三環系抗うつ剤なども考えます。もうひとつの治療はアラーム療法です。下着に付けたセンサーが漏れ始めの尿を感知してアラームを鳴らし、目覚めたところでトイレで排尿させる方法で、無意識に漏らしてしまうことを減らすのが目的です。治療に手間と日数がかかること、装置が自費であることなどから、本人と親に意欲がある場合にお勧めです。おねしょはこれらの治療を行った場合、その60〜70%は1年から1年半で治癒するといわれています。恥ずかしいことと思わずに気軽に相談してください。



内閣府では、平成28年から指定避難所などに用いる図記号を統一し、日本全国どこでも同じ表示となるよう市町村へ勧めています。指定避難所などに表示されている図によって避難できる災害と、避難することが出来ない災害がありますので、普段から最寄りの避難所などの表示を確認しましょう。

第23回

避難所のピクトグラムを覚えましょう!

防災 高めよう自助の力

